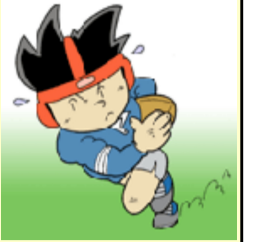


# 北九州支部管内、JR九州労組に

# 新入社員が全員が加入!

2024年度の新入社員の皆さまが、5月13日に各職場へ配属となった。北九州支部管内には、26名の配属があった。配属後に、各分会を中心にJR九州労組への加入の取り組みを行った結果、北九州支部管内に配属された新入社員全員がJR九州労組に加入を頂いた。

この結果は、新入社員の皆さまがJR九州労組の活動にご理解を頂き、また活動への期待を頂いていることを意味する。配属されたばかりの皆さまにとって、不安が大きいことは、容易に想像できる。その不安を少しでも解消し、より働きやすい環境を整えていくことも、組合活動の重要な取り組みである。とりわけ、分会における世話役活動は最重要であり、北九州支部も関係分会と連携し、世話役活動を充実させていきたい。



# トライ北九州 No.48

発行者  
九州旅客鉄道労働組合  
中央本部北九州支部  
発行責任者 山田 信隆  
編集責任者 成清 智宏

北九州市小倉北区  
室町3-2-155

TEL(093)583-3880

# サービスサポートからの転籍者 対象者の95%が加入

転籍者の方も 続々と加入

4月1日以降、駅関係の分会を中心に取り組んでいただいている、サービスサポートから転籍された方々への加入の取り組みも着実に成果として表れている。

北九州支部の管内には58名の方が転籍されたが、これまでに95%の方がJR九州労組に加入を頂いている。

北九州支部では、松元組織部長を中心に、全員加入に向けて、引き続き

取り組んでいく。

経験者採用 社員化採用も

前号で報告した通り、各職場に配属された経験者採用の方や地域社員から社員採用された方々についても、加入取り組みを行っている。

地域社員から社員化採用された方は全員加入頂いた。経験者採用の方についても各分会の献身的な対応により、8割を超える方々に加入を頂いた。



# 連合福岡北九州 第95回北九州メーデー開催

4月27日(土)、北九州市小倉北区の「あさの汐風公園」において、連合福岡北九州地協主催の「第95回メーデー」が開催された。

ここ数年、雨に降られたメーデーであったが、今回は曇り空で雨に降られずに済んだ。

メーデーは、英語で書くと「May Day」。ヨーロッパでは「夏の訪れを祝う日」として古くから祝日とされてきたが、始まりは1886年の5月1日、アメリカのシカゴで、1日12〜14時間勤務が当たり前だった労働環境の改善を求めて労働者がゼネラルストライキ(全国的な規模で行われる労働争議)を起こし、8時間労働の実現を要求したことに由来する。

以降、労働者たちが集

まり、権利を主張する日として、ヨーロッパをはじめ各地に広がったのがメーデー。今では5月1日を「労働者の祭典」として祝日とする国も多く、世界中で労働者たちのイベントやデモ行進などが行われている。本来であれば、5月1日に開催するところだが、多くの方に参加を頂くよう、ゴールデンウィークの初日に開催している。

当日は、様々な産別の労働組合からの参加があり、市民へのアピール行動等を行った。

全体で1500名の参加があり、北九州支部からは、家族の方を含め40名の方に参加を頂いた。

参加された皆さま、ありがとうございました。



# 北九州支部 青年・女性委員会 ユースセミナーを開催

4月19日(金)、北九州支部会議室において、青年・女性委員会主催の「ユースセミナー」が開催された。

「ユースセミナー」は、入社5年目以降の組合員を対象としており、組合活動の理解を深めて頂き、職場等での世話役活動の深度化を目的に開催している。

「ユースセミナー」は、企画から準備、当日の進行まで青年・女性委員会が中心となり開催している。

当日は、北九州支部の豊田智青年・女性委員長がセミナーの講師を務め、組合活動の重要性や世話役活動の方法等を説明した。

教育活動は、技術継承や組合活動の入口として重要な取り組みである。



また、次代のJR九州労組を担う青年・女性委員会の活性化のためにも、今回のようなセミナーを始め、青年・女性委員会独自のレクリエーション等に取り組んでいきたい。

